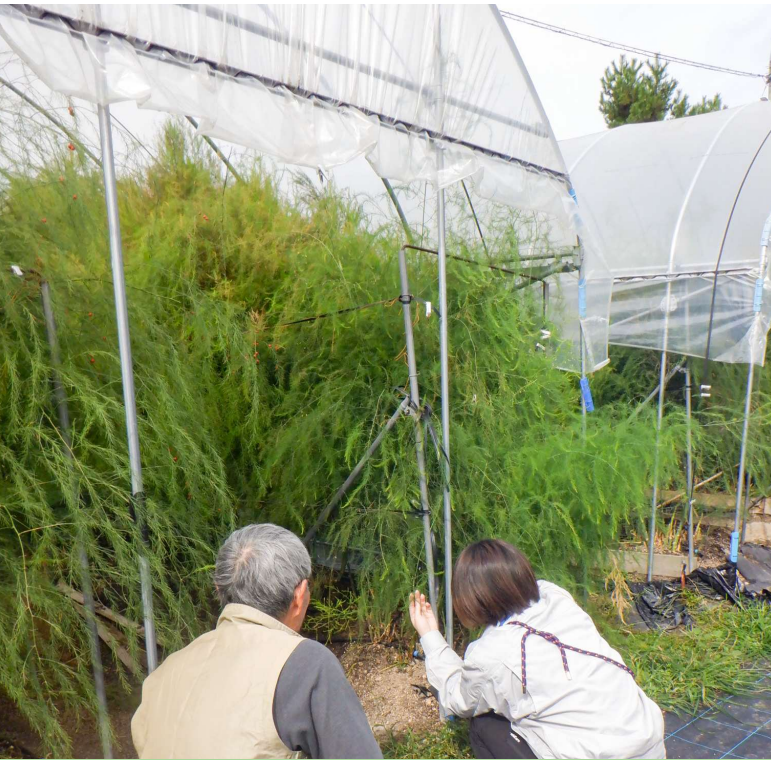


HILL はれはれ BL

令和5年度 勝英農業情報誌
岡山県美作県民局農林水産事業部
勝英農業普及指導センター



1. 技術紹介・産地の動き

トピックス 水稻栽培の新しい施肥体系の検討

- 01 黒大豆の収量向上に向けて
- 02 ドローンを使って獣害から田んぼを守る
- 03 「岡山SYB1号」の摘芯で黒大豆枝豆の収量向上を目指す
- 04 勝英農業士会の活動
- 05 ももにおけるカラス被害軽減策について

06 ぶどう産地の未来をつくる

- 07 アスパラガス産地の活性化に向けて
- 08 りんどう新品種「岡山RND5号」を実証中
- 09 専門家派遣と研修会で経営支援
- 10 仲間づくり交流会で意気投合!
- 11 水田での飼料用子実トウモロコシの栽培実証

2. 新規就農者の紹介

3. 表彰者の紹介

SHOFEI

県北東部に位置する勝英地域は美作市、勝田郡勝央町・奈義町、英田郡西粟倉村から成ります。

ほぼ全域で水稲、黒大豆を栽培しており、各地に野菜、果樹の産地、花の栽培、酪農、和牛の繁殖、肥育も行われています。



写真の説明

令和5年度 勝英農業情報誌
岡山県民局農林水産事業部
勝英農業普及指導センター

ハウスぶどう
管理指導

アスパラガス
管理指導

黒大豆
新規生産者講習会

黒大豆枝豆
収量調査

水稲
収量調査

1. 技術紹介・産地の動き
トビックス1 水稲栽培の新しい施肥体系の検討
・黒大豆の収量向上に向けて
・ドローンを使って畝番から田んぼを守る
・「岡山SYB1号」の摘芯で収量向上を目指す
・勝英農業士会の活動
・ももにおけるカラス被害軽減策について
・ぶどう産地の未来をつくる

・アスパラガス産地の活性化に向けて
・りんどう新品種「岡山RND5号」を実証中
・専門家派遣と研修会で経営支援
・仲間作り交流会で（意気投合）！
・水田での飼料用子実トウモロコシの栽培実証

2. 新規就農者の紹介
3. 表彰者の紹介

露地ぶどう
講習会

もも
栽培管理指導

水稲
収量調査

美作市新農業経営者クラブ連絡協議会の活動

岡山県美作市農林水産事業部
勝英農業普及指導センター

〒707-8585 岡山県美作市入田2-91-2（美作市農林局美作地域事務所4階）
 T E : 0868-73-4067-4068
 F A : 0868-72-8655
 Eメール : shouei-fkyp@pref.okayama.lg.jp
 H P : https://www.pref.okayama.jp/shoushiki/135

ホームページはこちら

経営、産き、6次産業化に関するお問い合わせはこちらへ
美作広域農業普及指導センター
〒708-8506 岡山県津山町山下5-3（美作市農林局第一庁舎2階2号）
 T E : 0868-23-1496-1513
 F A : 0868-23-5962
 Eメール : tsuao-fkyp@pref.okayama.lg.jp
 H P : https://www.pref.okayama.jp/shoushiki/120

産地に隣接するお問い合わせはこちらへ
農産物生産産課 産産第一班
〒708-8506 岡山県津山町山下5-3（美作市農林局第一庁舎2階5号）
 T E : 0868-23-1370
 F A : 0868-24-4962



水稻栽培の新しい施肥体系の検討

～緑肥を活用した水稻の施肥体系の検討～

近年肥料価格の高騰は著しく、農業経営は厳しい状況にあります。そこで、緑肥から得られる窒素で肥料コスト低減を図る施肥体系を検討しました。これは水稻栽培前にほ場へ秋または春先に緑肥を播種し、入水前にすき込むことで、肥料として活用する技術です。

今回の緑肥は耐寒性のあるクリムソクローバ（実証Ⅰ）と耐湿性のあるペルシアンクローバ（実証Ⅱ）を検討しました。

その結果、一発肥料体系の区（対照区）と比較して生育、収量に遜色なく、地域において緑肥が活用できる可能性が示唆されました。

しかし、今回実証した水稻品種は倒伏防止のため窒素施肥量が少なく、緑肥種子費用が肥料費を上回ったことから低コスト化が図りにくいことが分かりました。

今後は、緑肥に適する水稻品種やより肥効が期待できる緑肥の播種時期等について検討を進めます。

収量調査

| | 精玄米重 kg/10a | 千粒重 g | 登熟歩合 % |
|------|----------------|----------|-----------|
| 実証区Ⅰ | 454.5 | 28.7 | 86.5 |
| 実証区Ⅱ | 412.4 | 28.3 | 79.9 |
| 対照区 | 309.8 | 28.3 | 87.8 |



開花したペルシアンクローバ

～プラスチック被覆肥料の代替を検討～

近年、プラスチック被覆肥料の被覆殻による環境汚染が懸念されており、代替肥料による栽培方法の検討が進んでいます。

普及指導センターでは、美作市において、基肥に鶏ふんを使用し、出穂前の追肥に硫安をドローンで行う区と従来の被覆肥料を使用した区を比較しました。

その結果、従来の区と生育・収量は同程度で、さらに追肥作業はドローンを使用したため、時間は10aあたり8分程度と短時間で省力的に行えました。

今後も、肥料の種類や追肥の手段等、地域にあった方法を検討していきます。



ドローンによる追肥作業



01

黒大豆の収量向上に向けて



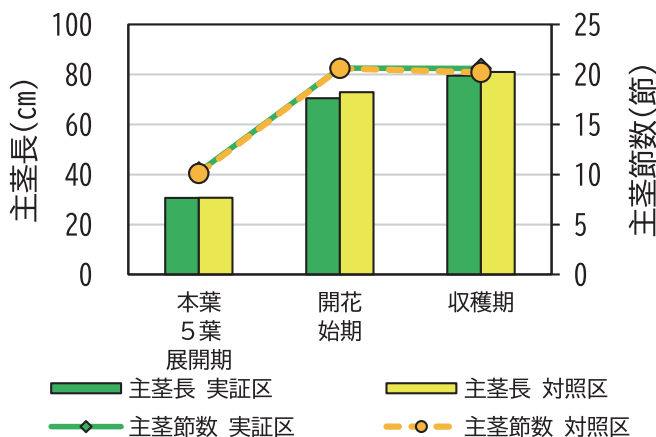
黒大豆生育調査中

勝英地域の黒大豆は県内作付面積の約5割を占める主要な産地であるものの、長年の連作によるほ場の地力低下や近年の開花期前後の高温乾燥などが原因と考えられる収量の低下が大きな問題となっています。

そこで、地力低下対策に有効とされる開花期の肥効を高めた施肥体系について検討しました。一発肥料のみを散布した対照区と、一発肥料と開花期から肥効がでる緩効性肥料（LPS120）を散布した実証区で、生育、収量を比較しました。

その結果、生育は同程度で、収量は実証区がやや増加し、大粒率は同程度でした。

今回はマルチ栽培による実証であったため、今後は露地栽培で同様の施肥体系の検討に取り組めます。



| | 稔実莢数 (莢数/10a) | 精子実重 (kg/10a) | 大粒率 (%) |
|-----|------------------|------------------|------------|
| 実証区 | 346 | 285 | 9.7 |
| 対照区 | 326 | 263 | 10.6 |

※実証区：大豆一発638 40kg/10a + L P S 120 3.9kg/10a
 ※対照区：大豆一発638 40kg/10a 両区ともに、施肥5/17、マルチ施設5/21

02

ドローンを使って獣害から田んぼを守る

獣害対策で活用されているワイヤーメッシュや電気柵は、設置後の周囲の草刈や補修などが必要不可欠です。しかし、担い手の減少や高齢化によりこうした作業が難しくなっています。

そこで、ドローンを活用した結果、以下の効果がありました。

- ①上空からの被害確認：上空から広範囲に確認することで、被害状況を短時間で把握することができました。
- ②加害獣の追い払い：加害獣の出没時間に合わせてドローンを飛ばし、追い払いや行動把握を試みました。獣の逃走経路と侵入経路は同じであることが多いことから、追い払うことで、逃走経路や侵入経路をすばやく特定し、対策の必要箇所を絞り込むことができました。今後も省力的かつ効果的に取り組める獣害対策を検討していきます。



ドローンから逃げるシカ
(赤外線カメラにて撮影)



上空から撮影した被害状況

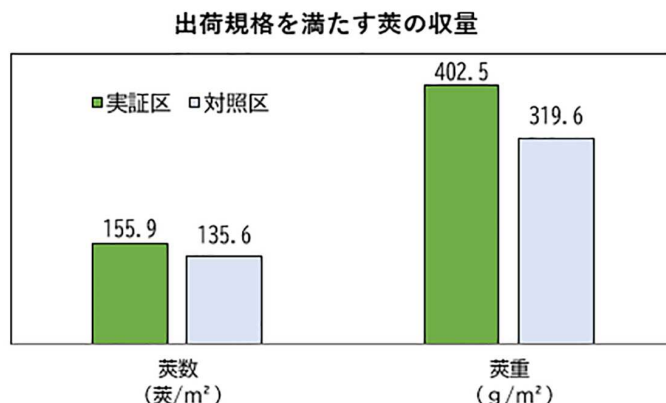
03「岡山SYB1号」の摘芯で黒大豆枝豆の収量向上を目指す

勝英地域の黒大豆枝豆は、「岡山系統1号」に加え、令和2年から収穫・出荷期間の拡大のため、専用品種「岡山SYB1号」を導入しています。しかし、規格まで充実しない莢が多く、収量が不安定な状況にあります。

そこで莢数の制限による子実肥大効果を目的に摘芯の実証を行いました。本来の摘芯は4～5葉期に行い、分枝を増やすことが目的ですが、今回は8～10葉期に行いました。

その結果、出荷規格を満たす莢数・莢重ともに向上する傾向を確認でき、収量向上を図ることができました。しかし、依然として充実しない莢が半分程度確認されたため、今後も継続して改善策を模索していきます。

今回実証では草刈り機を用いました。この摘芯を行う際は、草刈り機の使用には十分注意してください。



03

04

勝英農業士会の活動

勝英農業士会（会員16名）は「勝英地域農業・農村の活性化を語る会」として定期的に情報交換を行っています。

令和5年度は8月に那岐山麓山の駅で行い、経営継承等の後継者問題、農地の大半を支える小規模農家や既存生産者への支援策、耕畜連携マッチング支援等について活発に意見交換が行われました。

また、あわせて会員訪問として江見農業士（もも、サツマイモ）、安東農業士（水稻、トマト等）、花房農業士（肉用牛肥育）の3経営体を訪問し、各農業士からももの販路やサツマイモ通年出荷の取組、水稻直播や野菜類を組み合わせた労働分散、エゴマ栽培による地域活性化、地元の稲WC S利用、稲わらと堆肥交換による耕畜連携等それぞれの取組について現地で説明を受け交流を深めました。



04

05

ももにおけるカラス被害軽減策について



導入した音声追払い装置

管内のもも産地ではカラスの食害が問題となっており、対策として防鳥テープや死骸の模型、鷹の凧、テグスなど様々な方法がとられていました。しかし、手間がかかったり、カラスが慣れてしまったりと十分な効果は得られていませんでした。

そこで、音声追払い装置を導入し実証しました。これは従来の音声装置とは違い、現場のカラスの反応に合わせた音声提供と、カラスが慣れる度に新しい音声に変更するなど保守サービスがある点が特徴です。

その結果、一部の地ガラスは慣れてしまいましたが、渡りガラスには大きな効果があり、被害果実が大幅に削減されました。

今後、地ガラスに適した音声等を検討していきます。



慣れて侵入してしまった地カラス

06

ぶどう産地の未来をつくる

勝央町では明治時代から栽培が始まり、品質の良いぶどうが生産されています。

勝央町ぶどう部会は平成12年頃から、この産地を次世代へ引き継ぐため、新しい生産者を受け入れ育成する取組を行っています。

近年、高齢化がさらに進んだことから、改めて、より良い産地として引き継がれるため産地の未来について何度も話し合い、産地計画を作成しました。

その計画に従って栽培希望者を迎えて育成し、ぶどう栽培面積を増やしていきます。また、動画を作成し、高品質のぶどう栽培を伝承していきます。さらに、環境負荷軽減のためせん定枝を利用して炭を作製し、土中に施用することで二酸化炭素の貯留、土壌の改良を行う取組を進めていきます。



作業動画の一場面



せん定枝を利用した炭

勝英地域は県内一のアスパラガス産地ですが、近年生産者の高齢化などが進み、出荷量が伸び悩んでいます。そこで、産地活性化に向け産地一体となって取り組んでいます。

～新規生産者の確保・育成活動～

ラジオ等のメディアを介した産地のPR活動や、募集説明会を開催し、新たな生産者の確保を目指し活動しています。また、普及指導センターは、JAと連携して新規生産者を対象とした講習会や定期的なほ場巡回を行い栽培技術の向上を図っています。



先輩のほ場で初心者講習会を開催

～産地戦略の策定～

令和4年度からSWOT分析※等を行い、産地の強みなどを分析してきました。令和5年度は関係機関一体となって「産地マーケティング育成・強化事業」に取り組み、主要出荷先である大阪市場や他県産地の視察等を行い、得られた情報を参考に産地の戦略策定を進めています。



産地戦略策定に向けた意見交換会

※SWOT分析とは？

分析対象を「内部環境」と「外部環境」に分け、さらにその中で「プラス要因」と「マイナス要因」を整理し、課題や強みを可視化する分析方法のこと。

～雨よけ栽培の推進～

令和元年度から雨よけ栽培の実証試験を行っており、複数年で茎枯病等病害の低減や、増収などの効果が認められました。

令和5年度は、雨よけ栽培に関心のある生産者を対象に研修会を開催し、効果や導入にあたっての留意点、実際に導入されている方の感想等を伝えることで、普及を進めており、少しずつですが、導入される生産者が増えています。



生産者による雨よけ栽培PR



雨よけ栽培の現地を見学

岡山県が育成したりんどう新品種「岡山RND5号」の栽培実証に美作市下庄町で取り組んでいます。令和4年5月に定植し、2年目となる5年8月に初収穫を迎えました。

収穫は8月10日から始まり、切花品質は、草丈が1mほどとやや短く、1株当たりの立茎数も3本程度と少なめでしたが、花段数は5段以上あり、茎もしっかりした太さでした（表）。

りんどうが本格的に収穫できるのは株が十分成長する3年目からで、2年目より草丈も伸び、立茎数も増えます。また、収穫時期はその年の天候に左右されやすいので、1年の結果だけでは判断できません。

3年目も調査を継続して品種特性をしっかりと把握した上で、産地への導入を図ります。

切花品質

| 草丈 cm | 花段数 段 | 節数 節 | 茎径 mm | 立茎数 本/株 |
|----------|----------|---------|----------|------------|
| 100.2 | 5.6 | 19.6 | 5.4 | 3.4 |

発蕾 7月5日



収穫直前に切花品質を調査

普及指導センターは、生産者からの「法人化」「雇用・労務管理」「経営継承」などの相談に対し、岡山県農業経営・就農支援センターに専門家の派遣を依頼し、連携して助言・支援を行っています。

令和5年度は、大型農業法人から経営診断の相談があり、支援センターから派遣された中小企業診断士と連携して経営診断と経営改善の助言を行いました。

また、生産者の経営管理改善を目的に「パソコン簿記研修会」を11月に3回開催し、複式簿記の基礎、農業簿記ソフト（ソリマチ）の操作とそれを利用した仕訳や決算処理等の支援を行いました。

農業経営に関する相談を希望される場合は、普及指導センターへお問い合わせください。



専門家との相談



パソコン簿記研修会

10

仲間づくり交流会で意気投合！

6次産業化に取り組む生産者から「互いに知り合う機会が少なく、意見交換をしたい」との声を受けて、美作県民局管内の生産者を対象に「仲間づくり交流会」を行いました。

第1回交流会は、10月24日、真庭あぐりガーデンで17名が参加しました。施設や直売所を見学し「加工施設はどうしているか」など、お互いの取組について意見交換を行いました。

第2回交流会は、11月14日、鏡野町物産館夢広場で11名が参加しました。Instagramの特徴や設定方法について講師から指導を受けました。「まずは更新頻度をあげましょう」というアドバイスもあり、参加者はお互いのInstagramをフォローしていました。

今後も、普及指導センターでは生産者間の相互交流ができるよう支援していきます。



話が尽きない意見交換（第1回交流会）



個別に作成したInstagramを相互にフォロー（第2回交流会）

11

水田での飼料用子実トウモロコシの栽培実証

奈義町では、耕種農家が約15haの水田で飼料用トウモロコシを栽培し、茎葉子実全部をサイレージ調製し酪農家に供給しています。令和4年から地域産飼料のさらなる拡大を目指し、新たに子実のみを収穫するトウモロコシの栽培実証に取り組んでいます。

1年目は播種が6月になったことから、湿害のため実の付きが悪く、乾燥後の目標収量550kg/10aに対し283kg/10aと低収量でした。2年目の令和5年度は、播種を4月に早め、播種密度や施肥量を見直すなど、栽培管理を改善したため順調に生育しました。8月の台風の影響で、茎葉は折損・倒伏が見られましたが、子実は無事収穫でき、乾燥後の収量は約550kg/10aで目標収量を達成しました。収穫後、細断された茎葉(約2.5t/10a)は緑肥としてほ場にすき込みました。



収穫前のトウモロコシ



収穫の様子と収穫した子実トウモロコシ（左上）

新規就農者の紹介

杉山 文哉さん
(STAR BESTIE株式会社)

住所：美作市
経営品目：きくらげ



国産のきくらげに魅せられて、きくらげ栽培専用で作られたコンテナハウスを利用し、IoT技術を活用した新しい形の農業経営を目指しています。今後、地域産品とのコラボ販売等にも取り組んでいきたいと考えています。

安藤 樹さん

住所：奈義町
経営品目：露地野菜



祖父母の農地を引き継ぎ、露地野菜を中心に栽培しています。きゅうり、白ねぎの他、収益性の高い露地野菜を選定しながら、今後、面積を拡大し所得向上を目指したいと考えています。

はじめまして！
よろしくお願いします！



© 岡山県「ももっち・うらっち」

表彰者の紹介

第56回 岡山県農林漁業功労者表彰

岡山県農林漁業功労者表彰とは、本県農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀な個人又は団体を表彰するものです。

岡山県知事表彰 農産部門

竹久 文秋さん

住所:勝央町



経営品目:ぶどう

勝央町でぶどう加温ハウス栽培に県内でも早くから取り組む等、高品質ぶどうの生産、新品種や新技術の導入に積極的に取り組んでいます。平成30年からは勝央町ぶどう部会の部会長として、次代を担う担い手の育成に尽力されています。また、産地の優れた栽培技術を伝承するための動画作成等、産地の発展に大きな貢献をされています。

岡山県農林水産部長表彰

農産部門

峰山 正紀さん

住所:勝央町



経営品目:ぶどう

平成12年に県外から勝央町に移住してぶどう栽培を始め、大規模経営と高品質果実生産を両立されています。新品種の導入、新技術の導入に積極的に取り組み、また、勝央町ぶどう部会の副会長として新しい担い手の受入体制を整備して研修生の募集・育成を行い、産地の発展に尽力されています。

農産部門

安藤 正樹さん

住所:奈義町



経営品目:水稲、大豆、白ねぎ

各種経営品目の栽培に加え、地元集落営農の代表理事として運営全般に携わるとともに、作業の中心となるオペレータとしても活躍されています。またドローンやFOEASを始めとした先端農業機器の導入による作業効率化への取り組みのほか、町主催の様々な地域振興企画への協力、白ねぎ部会部会長、大型稲作研究会副会長としても、地域の農業振興に尽力されています。

畜産功労者に対する知事感謝状

「畜産功労者に対する知事感謝状」とは、本県の畜産業の振興に貢献し、その功績が特に顕著な個人又は団体に対して贈呈されるものです。

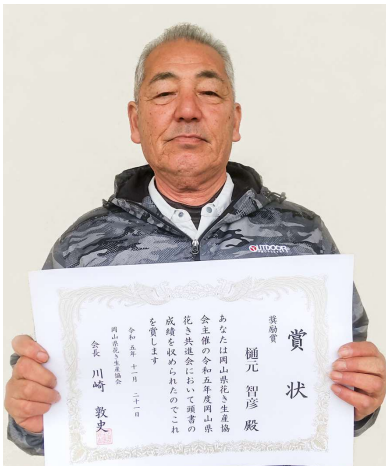


小村 雅紀さん

住所：勝央町
経営品目：酪農

循環型酪農の実践や酪農協理事として酪農振興に尽力されています。

令和5年度岡山県花き共進会



岡山県花き生産協会会長賞
奨励賞

樋元 智彦さん

住所：美作市
経営品目：りんどう

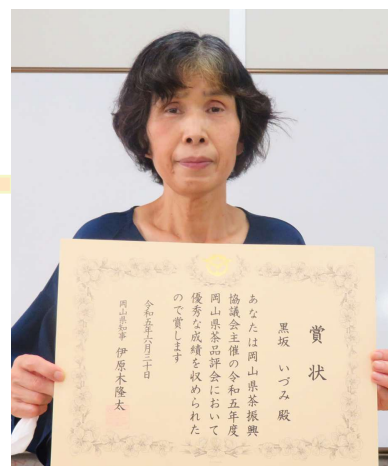
みなさま
おめでとうございます！

令和5年度岡山県茶品評会

岡山県知事賞

黒坂 いづみさん

住所:美作市



全国茶生産団体連合会長賞

(有)海田園黒坂製茶

住所:美作市



全国農業協同組合連合会 岡山県本部長賞

濱田 公康さん

住所:美作市

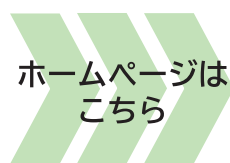


© 岡山県「ももっち・うらっち」



**岡山県美作県民局農林水産事業部
勝英農業普及指導センター**

〒707-8585 岡山県美作市入田291-2 (美作県民局勝英地域事務所4階)
TEL: 0868-73-4067、4068、4069
FAX: 0868-72-8605
Eメール: shoei-fukyu@pref.okayama.lg.jp
HP: <https://www.pref.okayama.jp/shoshiki/135>



経営、花き、6次産業化に関するお問い合わせはこちらへ
美作広域農業普及指導センター

〒708-8506 岡山県津山市山下53 (美作県民局第一庁舎別館2階)
TEL: 0868-23-1496・1513
FAX: 0868-23-5962
Eメール: tsuya-fukyu@pref.okayama.lg.jp
HP: <https://www.pref.okayama.jp/shoshiki/120>

畜産に関するお問い合わせはこちらへ
農畜産物生産課 畜産第一班

〒708-8506 岡山県津山市山下53 (美作県民局第一庁舎別館5階)
TEL: 0868-23-1310
FAX: 0868-24-4962